

茨城を動かそう



Action the Ibaraki



茨城県知事 橋本 昌

| 知事からのメッセージ |

現在、我が国は、本格的な人口減少・超高齢社会の到来、社会経済のグローバル化など、大きな変革期を迎えております。こうした状況の中、茨城県は、高度なものづくり産業や最先端の科学技術の集積に加え、全国第2位の生産額を誇る農業など、これから日本の発展を支えていける数少ない県の一つです。

県では引き続き、震災からの復興はもとより、本県の着実な発展に向けて、女性や若者が活躍しやすい環境づくりや海外との交流拡大、人口減少が著しい県北地域の振興などに重点を置きながら、「人が輝く 元気で住みよい いばらき」づくりに取り組んでまいります。

厳しさを増す地域間競争の中で、本県の持つ優位性を最大限に活かしながら、将来とも活力ある元気な県にしていくために、皆さんの新しい発想と行動力が必要です。

県民全体の奉仕者としての強い使命感を持って、積極的に県民福祉の向上に取り組みたいと思っている皆さん、茨城の未来を創るために、茨城県職員となって、一緒に頑張りましょう。

茨城県総合計画(改定)「いきいき いばらき生活大県プラン」

「生活大県」の実現を目指して

これまで茨城県は、陸・海・空の広域交通ネットワークなどを活用して、企業誘致や科学技術の拠点づくりといった産業大県づくりに取り組み、一定の成果をあげてきました。

今後は、産業大県づくりに引き続き取り組みながら、そこから生み出される活力をもとに、医療や福祉、教育、環境など、県民生活に密接な課題への取組を一層充実させることが求められています。

このため、県政運営の基本方針となる茨城県総合計画(改定)「いきいきいばらき生活大県プラン」では、「みんなで創る人が輝く元気で住みよい いばらき」を基本理念に掲げるとともに、暮らしや人、経済に着目した3つの目標を定め、県民をはじめとする多様な主体と連携しながら、県民誰もが安全・安心で快適に暮らせる「生活大県」の実現を目指して取り組んでいます。

基	本
理	念

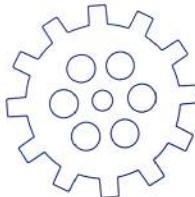
「みんなで創る 人が輝く元気で住みよい いばらき」

- 県民一人ひとりが、質の高い生活環境のもとで安全、安心、快適に暮らすことができる「生活大県」を目指し、全国のモデルとなるような地域社会を創造していきます。
- 「生活大県」づくりにあたっては、県や県民、市町村、企業、大学・研究機関、NPO など多様な主体がしっかりと連携して取り組んでいくとともに、茨城県の持つ優位性を最大限に活用しながら、新たな価値を創造し、日本や世界の発展に貢献していきます。

生活大県プロジェクト

「3つの目標」にまたがる重要なテーマを12のプロジェクトとして位置付け、茨城県の先進性や優位性を最大限に活用しながら、重点的かつ分野横断的に取り組みます。

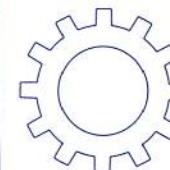
- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① 地域医療充実プロジェクト | ⑦ 泳げる霞ヶ浦再生プロジェクト |
| ② 暮らしの安全・安心プロジェクト | ⑧ 質の高いライフスタイル創造プロジェクト |
| ③ 社会全体で取り組む子育て支援プロジェクト | ⑨ 競争力ある産業育成と雇用創出プロジェクト |
| ④ 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト | ⑩ いばらき農業成長産業化プロジェクト |
| ⑤ 高齢者いきいき生涯現役プロジェクト | ⑪ アジアへ広がる観光・交流推進プロジェクト |
| ⑥ 低炭素社会実現プロジェクト | ⑫ いばらきイメージアッププロジェクト |



Action the Ibaraki

「生活大県」の実現を目指して	2	県の組織と主な仕事	12
主要事業の紹介	4	給与・待遇・福利厚生等	13
先輩たちからのメッセージ		研修制度	14
職種別業務内容の紹介	6	採用試験案内	15
●事務(知事部局等) ●事務(警察) ●電気 ●機械 ●土木 ●建築 ●化学 ●薬剤師 ●管理栄養士 ●農業 ●農業土木 ●畜産 ●林業 ●水産 ●獣医師 ●福祉 ●心理 ●小中事務			

Contents



Action the Ibaraki



生活大県を実現するための「3つの目標」



1 「住みよいいばらき」づくり

誰もが安心して健やかに暮らすことのできる「住みよいいばらき」を実現するため、以下の4つの政策を展開します。

●医療・保健・福祉が充実した安心できる社会づくり

医師不足などの課題に対応した安心して医療を受けられる体制の整備や、少子化に対応した子ども・子育てを応援する社会づくり、高齢化の進展を踏まえた高齢者が安心して暮らせる社会づくりなどに取り組みます。

●安全で安心して暮らせる社会づくり

犯罪に強い地域づくりや、消費生活と食の安全確保、防災体制・危機管理の強化、原子力安全対策の推進、災害に強い県土づくりなどに取り組みます。

●みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり

地球温暖化対策の推進や資源循環型社会づくりの推進、霞ヶ浦等の湖沼環境の保全などに取り組みます。

●人にやさしい良好な生活環境づくり

コンパクトで利便性が高く、やさしさを感じられるまちづくりや、地域コミュニティの活性化、生活交通環境の充実などに取り組みます。



ドクターヘリの運航



保育所の様子

2 「人が輝くいばらき」づくり

誰もが個性や能力を発揮し、主体的にいきいきと活動できる「人が輝くいばらき」を実現するため、以下の3つの政策を展開します。

●いばらきを担うたくましい人づくり

基礎学力や個性を伸ばす教育の推進、豊かな心と健やかな体を育み自立した人を育てる教育の推進、国際社会で活躍できる人材の育成などに取り組みます。

●豊かな人間性を育む地域づくり

核家族化や人間関係の希薄化などに対応した家庭・地域社会の教育力の向上や生涯学習環境づくり、歴史・芸術・文化の薫り高い地域づくりなどに取り組みます。

●互いに認め合い支え合う社会づくり

一人ひとりが尊重される社会づくりや男女共同参画社会の推進、青少年・若者などの社会参加の促進などに取り組みます。



チーム・ティーチング



小学校理科の授業の様子

3 「活力あるいばらき」づくり

競争力ある元気な産業が集積し、交流が盛んな「活力あるいはらき」を実現するため、以下の4つの政策を展開します。

●日本や世界をリードする科学技術創造立県の実現

我が国の枢要な科学技術拠点として日本や世界をリードしていくことができるよう、つくばや東海地区などにおける研究開発の推進と研究成果の社会還元、未来の科学技術を拓く環境づくりなどに取り組みます。

●国内外の競争に打ち勝つ力強い産業づくり

産業拠点の競争力向上と企業立地のさらなる促進、競争力あるものづくり産業の育成、商業・サービス産業の育成などに取り組みます。

●日本の食を支える食料供給基地づくり

全国有数の食料供給基地としての役割を担っていくため、消費者との信頼関係の構築、高品質で商品価値の高い農産物づくりと販売力の強化、農業生産を支える基盤づくりなどに取り組みます。

●人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり

魅力ある観光の推進、個性を活かした魅力的な地域づくり、広域交通ネットワークの充実、茨城空港の就航対策と利用促進などに取り組みます。



メロンの収穫



茨城空港

主要事業の紹介

Introduction



Action the Ibaraki

泳げる霞ヶ浦の再生

～霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画を策定し、水質浄化対策を推進～

霞ヶ浦は、全国で2番目に広く、茨城県を代表する景観を形成しており、水資源・水産資源・観光・レクリエーションの場などの多様な機能を持っている、茨城県民にとって貴重な財産です。

一方、霞ヶ浦の水質は、昭和40年代前半までは湖水浴場がにぎわう良好な状態でしたが、流域の都市化や産業活動の進展により悪化が進行しており、その再生が県政の最重要課題となっています。

このため、本県では、「泳げる霞ヶ浦、遊べる河川」の実現に向けて、「霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画」を策定し、国・市町村と連携するとともに、森林湖沼環境税を活用しながら、生活排水対策や農地・畜産対策などの浄化対策、環境学習や啓発活動などを推進しています。

湖沼水質保全計画の策定・進捗管理

霞ヶ浦浄化対策推進会議や県環境審議会霞ヶ浦専門部会を開催し、5年ごとに霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画を策定し、計画期間中は同計画に基づく浄化対策事業の進捗状況を管理しています。

水質浄化対策

生活排水対策では、条例で義務づけられている高度処理型浄化槽の設置・転換や、下水道・農業集落排水施設への接続を支援し、生活排水処理率の向上を図っています。

農地対策では、農業排水を用水として再利用する循環かんがい施設の整備・管理を支援するほか、環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーの認定促進などを進めています。

畜産対策では、家畜排せつ物から生産される堆肥を処理・利用するため、堆肥を霞ヶ浦流域外へ流通させる取組や、堆肥をセメント工場などの燃料として活用する実証試験を行っています。

環境学習・啓発活動

霞ヶ浦湖上体験スクールや、霞ヶ浦環境科学センターの展示室・研修室での学習、自然観察会などの環境学習を実施し、子どもの頃から霞ヶ浦に親しむ心を育てています。

霞ヶ浦水質浄化強調月間（海の日～9月1日「霞ヶ浦の日」）には、霞ヶ浦環境科学センター夏まつりを開催し、水質浄化ポスターの表彰を実施しているほか、市民活動に対する支援や霞ヶ浦環境科学センター交流サロンを利用した市民団体との意見交換会などを実施し、霞ヶ浦水質浄化に対する意識の醸成を図っています。



霞ヶ浦と帆引き船



霞ヶ浦湖上体験スクール



環境対策課

北村主任 (平成15年度採用)

「泳げる霞ヶ浦・遊べる河川」の実現に向けた 水質浄化対策の管理

私は霞ヶ浦の水質状況や霞ヶ浦水質浄化対策の進捗状況の管理を担当しています。霞ヶ浦の水質を管理することは水質目標を決め、目標達成に向けて水質浄化対策を検討する上で重要です。また、水質浄化対策は土木、農林、水産等と多岐にわたり、県庁内の部署に限らず、国や市町村、各種団体等と協力して実施する必要があります。いろいろな分野の対策内容を理解するために日々勉強が欠かせませんが、多くの人と交流し、新しい対策技術に触れることができ、やりがいと充実を感じています。

近年、霞ヶ浦の水質は改善傾向にありますが、昔のようなきれいな霞ヶ浦になるように全力で取り組んでいきたいと思います。

茨城農業改革の推進

「消費者のベストパートナーとなる茨城農業」の確立を目指して、
「茨城農業改革」を推進しています。

■ 本県農業の現状と農業改革の取組

本県は、広大な農地（耕地面積 17.2 万 ha (全国第3位)）、温かな気候、首都圏の大消費地に近いなど条件に恵まれ、29 の品目が全国第1～3位の生産額を誇り、平成25年農業生産額は4,356億円と、北海道に次ぐ農業県です。また、東京都中央卸売市場の青果物取り扱い量は、11年連続で全国1位であり、首都圏の食料供給基地を担っています。

この茨城農業をさらに発展させていくため、現在、「茨城農業改革大綱(2011～2015)」に基づき、「消費者のベストパートナーとなる茨城農業」の確立を目指し、農業者、関係団体、行政が一丸となって「食料」「農業」「農村」の3つの視点から「茨城農業改革」に取り組んでいます。



いばらきから発信する「信頼ブランド」

消費者が求める安全で安心な食料を安定的に供給することで、消費者・生産者相互の信頼関係を構築するとともに、環境負荷を軽減する「エコ農業茨城」の取組を県内全域で進めています。また、茨城の豊富で品質の高い農産物を消費者の皆様に広く認知してもらい、消費拡大・販売促進を図るため、首都圏を中心に「茨城フェア」を展開しています。さらに、県民の皆様に茨城県産農林水産物を食べて応援してもらう「茨城をたべよう運動」により地産地消を進めています。



未来につながるいばらき農業

農業者の高齢化や減少が急速に進行していることから、新規就農者の確保・育成や担い手への農地集積などに取り組んでいます。また、農業者の所得向上を図るために、銘柄畜産物の安定供給や加工・業務用食品に対応した契約栽培の推進などの生産振興、生産・加工・販売に一体的に取り組む6次産業化などにより付加価値を高める取組などを進めています。



茨城農業改革推進のための現地検討会の様子



茨城フェアの様子



農業政策課

寺門 係長 (平成12年度採用)

全国をリードする茨城農業の推進

茨城県は、米、園芸、畜産など多くの分野において農業生産額が全国上位に位置する農業大県です。

しかしながら、農業共通の高齢化や耕作放棄地の増大といった課題も深刻であり、それゆえ、全国各地が本県の動向に注目しています。

そのような中、私は現在、茨城農業をさらに発展させていくため「茨城農業改革」を戦略的に推進する部署に所属し、全国をリードする農業施策を企画立案する仕事などに従事しています。

自由かつ新しい発想の下、茨城農業を元気にしていく仕事に大きなやりがいを感じています。

これからも、全力で「消費者のベストパートナーとなる茨城農業」の確立に取り組んでいきたいと考えています。

先輩たちからのメッセージ

■ 職種別業務内容の紹介

豊かな自然に恵まれ、由緒ある歴史や文化に育まれてきた茨城県。豊富な農林水産物、最先端の科学技術や日本有数の産業の蓄積、陸・海・空の広域交通ネットワークなど、今後さらに飛躍する可能性に大いに恵まれています。

県職員として活躍している先輩たちは、様々な分野で、それぞれの知識や技術、経験を生かし、「いばらきの未来をつくろう」と、日々、自己研鑽を重ねながら業務に取り組んでいます。

事務 (知事部局等)



企画部県北振興課
川上主任 (平成17年度採用)

予算の編成・執行、施策の企画・推進、条例・規則の制定、申請に対する許認可や、税の徴収、用地買収の交渉など県行政のあらゆる分野で幅広く様々な仕事に携われます。

様々な経験や学びのチャンスがある

私は大学時代からまちづくりを学び、企業での勤務経験から地方自治に携わりたいとの思いが強くなり、県職員を志望しました。現在は企画部県北振興課で、県北地域に特化した産業や観光振興など幅広い業務に取り組んでいます。業務では市町村や関係機関、企業等と接する機会が多く、そこから新たな取組が生まれた時、とてもやりがいを感じています。入庁後は建築や税務行政のほか、(公財)地域活性化センターでの全国的な移住促進の取組み、人事課の海外研修など、幅広い分野での実務経験や学びのチャンスが多くあります。

主な勤務課所

知事部局、教育委員会等の本庁又は出先機関



受験勉強は大変ですが、法令や教養、思考方法など入庁後も役立つ内容が多くあります。私たち、そして、次世代の未来づくりのために、一緒に働きませんか。

事務 (警察)



警務部県民安心センター
長坂主任 (平成19年度採用)

予算の編成・執行、施策の企画・推進、条例・規則の制定、申請に対する許認可や鑑識業務、少年サポート活動など幅広く様々な仕事に携われます。

生まれ育った茨城県で地元のために働く

生まれ育った茨城県で地元のために働きたかったこと、警察の仕事に魅力を感じていたことから、警察事務職員の道を選びました。

私は今、犯罪被害者に対して、国からの見舞金である犯罪被害者等給付金を支給する仕事をしています。犯罪被害者は、犯罪による直接的な被害だけではなく、被害にあった後も様々な問題に苦しむことがあります。給付金が支給されることにより、そのような犯罪被害者の苦しみを少しでも軽くすることができたときは、自分の仕事に非常にやりがいを感じます。

主な勤務課所

警察本部の本庁又は県内各警察署



警察事務は「困った人を助けたい」を原点とする警察活動を支える、とても使命感とやりがいのある仕事です。熱意ある皆さんと共に働けるのを楽しみにしています。

電気



企業局県西水道事務所
白土主任 (平成7年度採用)

水道施設や下水道施設などの県有施設における電気設備の工事設計・施工監理及び保守管理などを行っています。また、県内企業を支援するための試験研究を行います。

日常の保守点検を行い事故の芽を早期に摘む

私はこれまで県内各地の浄水場に勤務し、家庭や学校、オフィスでお使い頂く水道用水の供給と、産業活動のベースとなる工業用水の供給事業に従事してきました。電気職として主な業務は、受変電設備の維持管理や建設に携わりながら、浄水場の運転管理や日常の保守点検を行い事故の芽を早期に摘み、浄水場というプラントを健全に保つための工事の発注や監督を行います。その他、浄水場の運用をより効率的に行うため、電力費や薬品費などのコスト管理も大事な仕事の一つです。

主な勤務課所

・本庁関係課・工業技術センター・下水道事務所・企業局水道事務所・県立病院



県民生活に必要不可欠な水道水と工業用水を電気サイドから担い、ライフラインとしての信頼性を今まで以上に高められる様、一緒に頑張りましょう。

Message & Advice

Action the Ibaraki

機械



総務部管財課
米川主任（平成8年度採用）

水道施設や下水道施設などの県有施設における機械設備の工事設計・施工監理及び保守管理などを行います。また、県内企業を支援するための試験研究を行います。

技術者として、茨城の発展に貢献する

県民生活を支える上下水道施設等のインフラ整備、公共施設や学校の設備の建設など、機械職に求められる用務は多岐に渡ります。

私はこれまで、主に上下水道施設での工事設計に携わり、水を浄化する技術向上に取り組んできました。

現在は、所属する管財課にて、県庁の庁舎環境を適切に維持するため、空調・衛生・防災設備など、ビルに必要な設備の管理や整備、計画などを行っています。

県民が安全で快適に生活できるよう、公共施設の技術的課題の解決に取り組む技術者として、茨城の発展に貢献できることにやりがいを感じています。

主な勤務課所

・本庁関係課・工業技術センター・下水道事務所・企業局水道事務所・県立病院



機械職の仕事は、行政事務から設備設計、工事現場まで、その内容は多岐に渡ります。多様な経験は技術者としての視野が広がります。茨城県の発展とともに支えましょう。

土木



土木部道路建設課
丹主任（平成16年度採用）

県土の基盤整備のため、道路、河川、ダム、港湾、都市計画、上・下水道等幅広い分野で事業の企画、工事設計・積算・監督・維持管理を行います。

地域の生活に直結する業務

私が所属する道路建設課では、茨城県総合計画のもと、道路の4車線化やバイパスの新設、通学路への歩道整備など「住みよい」そして「活力ある」いばらきの実現に向けた道路整備を進めています。その中で私は、県の管理する国道に関する事業の計画立案や調整などを担当しています。

土木職の仕事は、地域の生活に直結する業務が多く、県民のニーズや地域の抱える問題に対し、ハードとソフトの両面から取り組んでいく、とてもやりがいのある仕事です。

主な勤務課所

・本庁関係課・土木事務所・工事事務所・港湾事務所・下水道事務所・企業局水道事務所



海あり山あり、茨城には、みなさんがこれまでに学んだ土木の知識を活かす場所があります。魅力あるいばらきづくりを目指して、一緒にがんばりましょう。

建築



土木部営繕課
植木主任（平成20年度採用）

建築基準法や都市計画法に基づき、建築物や土地利用の審査・規制を行います。また、県営住宅、県有施設の工事設計・積算・監督を行います。

様々な角度からものづくり・まちづくりに携わる

建築職の仕事は、建築基準法や都市計画法等の許認可、県有施設の新築・修繕工事、高齢者社会へ向けた住宅施策など多岐にわたり、様々な角度からものづくり・まちづくりに携わることができます。

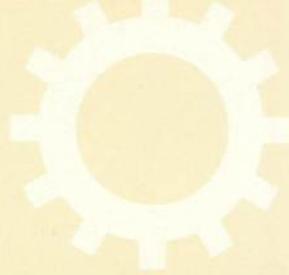
その中で、私は営繕課に所属し、学校や庁舎などの設計や工事監理を担当しています。安心・安全で快適な建築物をつくるために考えた計画が、形となり、多くの方に利用されていくことに大きなやりがいを感じながら日々の業務を行っています。

主な勤務課所

・本庁関係課・県民センター



経験豊富な先輩や同僚に囲まれながら日々研鑽を積むことができるが、建築職の魅力です。やる気あふれる皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



先輩たちからのメッセージ

化学



霞ヶ浦環境科学センター
前田 主任 (平成18年度採用)

大気汚染の防止、湖沼、河川の水質保全、騒音や放射線など広く環境問題に対応するための調査研究、監視観測を行うほか、中小企業支援のための技術開発を行います。

安全で豊かな生活を支えるために専門性を發揮

私は子供の頃から茨城で育ち、茨城に愛着があり、身近な自然環境を守る仕事に興味を持ち、県職員を志望しました。

私は採用されてからは高圧ガス等の法規制に関する業務、食品・医薬品に関する試験検査、井戸水の安全対策に関する業務などを経て、現在は霞ヶ浦環境科学センターで勤務しています。現在の仕事はPM2.5の成分を調べるモニタリングや、光化学オキシダントの発生原因に関する研究など主に大気環境に関するものであり、県民の健康被害を未然に防ぐという点では意義のある仕事だと考えています。

化学職は技術職の中でも特に幅広い分野で活躍しています。茨城の安全で豊かな生活を支えるために専門性を發揮するやりがいのある仕事です。



主な勤務課所

- ・本庁関係課・県民センター・霞ヶ浦環境科学センター・環境放射線監視センター
- ・保健所・衛生研究所・工業技術センター・下水道事務所・企業局水質管理センター

未経験分野でも知識経験豊富な先輩方が助けてくれるので大丈夫です。

茨城の暮らしを守り発展させるために、一緒に頑張りましょう。

薬剤師



県立中央病院
内藤 主任 (平成19年度採用)

医薬品などの安全性や食品の衛生を確保するための許認可や監視指導のほか、医薬品、家庭用品、食品、環境物質等の試験を行います。また、県立病院で調剤、服薬指導などを行います。

薬剤師としての専門知識を活かす

私は、薬剤師として働く上で幅広い分野の仕事に携わりたいと思い、県職員を希望しました。

現在は地域のがん拠点病院である県立中央病院に勤務し、内服・注射の調剤や患者様への服薬説明に加え、医師・看護師・他のコメディカルと共にチーム医療を行っています。薬剤師としての専門知識を患者様に直接活かすことができるでやりがいを感じています。

また、薬事や食品の分野にも興味があるので、今後携わっていけばと思います。



主な勤務課所

- ・本庁関係課・保健所・衛生研究所・県立病院薬

医療や薬事・食品・環境等幅広い分野にわたり、様々な経験を積むことができる仕事です。知識・経験豊富な先輩方もたくさんいますので、一緒にがんばりましょう。

管理栄養士



常総保健所
大内 技師 (平成23年度採用)

健康増進法等に基づき、県民の健康づくりや食生活の改善に向けた取組支援、市町村への技術支援、給食施設指導等を行うほか、県立病院や福祉施設では、対象者に合わせた栄養管理、給食管理を行います。

幅広い分野で積んだ経験を生かす

私は、管理栄養士として幅広い分野の仕事に携わりたいと考えていたため、県職員を希望しました。

昨年度までは肢体不自由児施設で、給食管理・栄養管理を行っていました。今年度からは常総保健所で、栄養連携業務（給食施設指導や栄養調査など）や、健康づくり業務（歯科保健やたばこ対策など）を担当しております。

配属先によって業務内容がかわりますが、幅広い分野で経験を積むことができ、その経験を生かすことができるで、とてもやりがいを感じております。

他職種や管内の市町村・給食施設と連携する中で学ぶことも多く、日々勉強の毎日です。



主な勤務課所

- ・本庁関係課・保健所・県立病院・福祉施設

管理栄養士は、生活習慣づくりや各世代への食教育をとおして、県民の健康を支える、とても重要でやりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしております。

Message & Advice

Action the Ibaraki

農業



販売流通課
小林 主任 (平成14年度採用)

農業改革の企画立案、産地の育成・振興、農産物の輸出・販路拡大やエコ農業の推進、農業者への新技術や経営改善の普及指導、担い手の育成などを行います。また、新品種の育成や新技術の開発などの試験研究を行います。

茨城農業の営業担当

茨城県は農業生産額が6年連続全国2位、東京市場では青果物の取扱高が11年連続1位と、首都圏を支える食糧庫です。県では、農家個々の技術指導から販売先との商談まで、幅広い事業を行っています。

私が現在所属する販売流通課は、県産農畜林水産物のPRや、6次産業化、輸出等による販路開拓を行っており、茨城農業の営業担当と言えます。茨城県の産物が持つ魅力やポテンシャルをいかに伝えていくか、楽しくやりがいある試行錯誤の日々です。

主な勤務課所

- ・本庁関係課・農林事務所・農業総合センター（生物工学研究所・園芸研究所・農業研究所・農業大学校）



作り手とともに美味しいものを食べ、売り手と共に美味しいものを売る素敵な仕事です。茨城の農業を五感で感じて、食卓に笑顔を運ぶ一員になりませんか？

農業土木



県西農林事務所
内村 主任 (平成17年度採用)

農用地、用排水路、農道、水辺環境等、農業の生産基盤や農業集落排水施設などの農村の生活環境を整備する事業の調査や計画策定、工事設計・積算・監督を行います。

地域がより良くなるよう試行錯誤の毎日

生まれ育った茨城で暮らしたい。そのため自分が茨城に間わり、役立てる分野や職業を考え、県職員を選びました。

農業土木職は、日本を支える茨城農業の中において、農業生産を支える基盤づくりや、住みよい農村環境づくりに携わる部分を担っています。

私は現在、水田地帯の基盤整備事業の担当者として、工事の発注、監督から地元調整に至るまで幅広く業務に携わっています。事業を契機に地域がより良くなるよう、農家や関係機関の方々と協議を重ねながら、試行錯誤の毎日ですが、その分とてもやりがいのある仕事です。

主な勤務課所

- ・本庁関係課・農林事務所



専門的な知識や経験は自ずと積み重なります。広い視野と新しい経験を楽しむ姿勢を持ったみなさんをぜひお待ちしています。

畜産



畜産センター
須藤 主任 (平成18年度採用)

畜産振興のための各種施策の立案・推進をはじめ、農家や関係団体に対し、生産技術向上や経営改善のための普及・指導などを行います。また、畜産物ブランド力向上のため、畜産の改良・増殖・飼養技術の改善等の試験研究を行います。

生産者が安定して経営を行えるよう支援

本県は、全国でも有数の畜産県です。県では畜産振興を図るため、様々な事業を通して生産者が安定して経営を行えるよう支援を行っています。

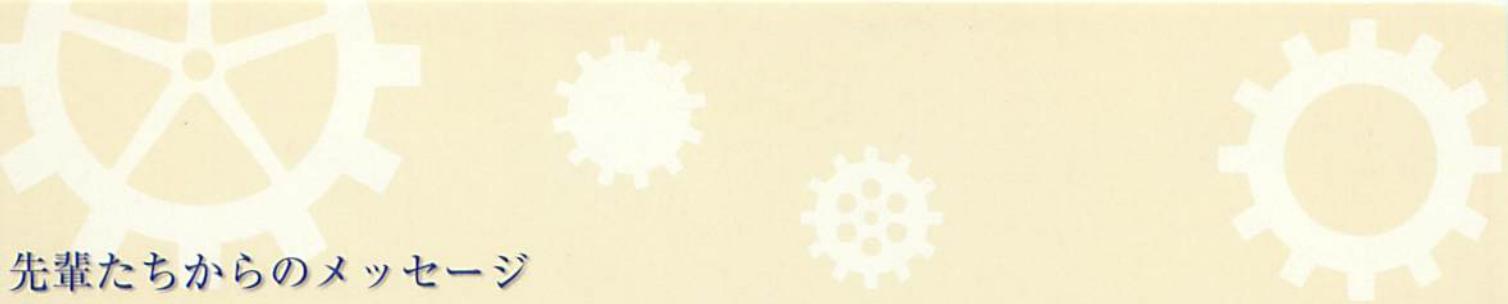
畜産センターは、いばらき畜産を技術面でリードし、畜産の技術革新を押し進めるための研究拠点として重要な役割を担っています。その中で私は、家畜排せつ物の処理と利用に関する研究に取り組んでいます。畜産環境の悪臭、汚水処理等の課題は多いですが、国の研究機関や企業と連携し、環境にやさしい畜産を目指した技術開発を行うなど、非常に魅力的でやりがいを感じる仕事です。

主な勤務課所

- ・本庁関係課・農林事務所・畜産センター（肉用牛研究所・養豚研究所）



畜産を取り巻く環境は変化し続けています。やる気とアイデア溢れるみなさんの力を待っています。一緒に茨城県を盛り上げて行きましょう。



先輩たちからのメッセージ

林業



県西農林事務所
寺田 主任 (平成16年度採用)

治山・林道・造林などの森林の保全・整備のための事業や、林業・木材産業の振興対策を行います。また、森林・林業に関する技術の試験研究や普及・指導などを行います。

様々な面から森林・林業に関わることができる

茨城県は、森林湖沼環境税等を活用した森林の整備など、林業・木材産業の活性化と機能豊かないばらきの森林づくりの推進に取り組んでいます。

その中で、私は、農林事務所という現場に最も近い機関に所属し、森林土木工事の計画・発注・現場監督業務を行うほか、未来の森林整備の担い手である小中学生を対象にした森林環境教育等を担当しています。

林業職は、林道や治山ダム等の整備、キノコの栽培支援、森林環境教育の指導、試験研究など非常に多岐にわたり、様々な面から森林・林業に関わることのできるやりがいと魅力のある仕事です。

主な勤務課所

- ・本庁関係課・農林事務所・林業技術センター



林業職は、県内の広大な森林が職場になります。茨城の森林・林業をより良いものにするために、熱い気持ちを持った皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

水産



水産試験場
益子 主任 (平成18年度採用)

漁業・水産加工業の振興対策、漁港・漁場の整備などを行います。

また、漁業や水産加工業に関する試験研究や普及・指導などを行います。

漁獲から消費者の口に届くまでをサポート

私は、民間企業で3年間営業職に従事した後、転職して県職員になりました。現在は、水産試験場に勤務し主に底魚類などの試験研究を行っています。一言で水産職といっても、その内容は、試験研究だけに留まらず、関係法令の所管や漁港整備などの公共事業、流通・加工関係、漁業取締など多岐に及びます。私たちの仕事は、水産物の漁獲からそれが、消費者の口に届くまでをサポートしていくものなので、大変やりがいのある魅力的な仕事だと感じています。

主な勤務課所

- ・本庁関係課・水産事務所・水産試験場



水産業の現場は、資源の減少など様々な課題に直面しています。そんな時だからこそ、現場で水産関係者とともに歩める人材が求められています。一緒に頑張りましょう。

獣医師



動物指導センター
龍尾 主任 (平成18年度採用)

公衆衛生分野では、食品衛生、生活衛生に関する監視指導、食内検査や動物の愛護管理に関する相談などを行います。

畜産分野では、家畜の衛生指導や新技術の研究や普及などを行うほか、家畜の育種改良や飼養管理などを行います。

人と動物が共生する地域社会を目指して

現在、私は茨城県動物指導センターにおいて、動物愛護や狂犬病予防、動物の適正飼養に関する普及啓発、飼い主への指導などの業務を行っています。

公務員としての獣医師は、公衆衛生分野や畜産分野の多岐に渡り、様々な業務を経験することができます。獣医師として学生時代に学んだ知識を十分に活用することができるため、非常にやりがいを感じる日々を送っています。

主な勤務課所

- ・本庁関係課・保健所・衛生研究所・食肉衛生検査所・動物指導センター
- ・家畜保健衛生所・畜産センター(肉用牛研究所・養豚研究所)



県の仕事は、幅広い様々な業務を経験できることが魅力です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Message & Advice

Action the Ibaraki

福祉



福祉相談センターや児童相談所等において、児童及びその家庭に関する相談や、児童の一時保護・生活指導等を行うほか、福祉施設において、自立支援や生活支援等を行います。

幅広く県民の福祉に携わる仕事

私は、児童相談所の児童福祉司として相談援助業務に従事しています。大学では高齢者福祉を専攻しましたが、分野にとらわれず、幅広く県民の福祉に携わる仕事がしたいと思い、県職員を志望しました。

児童相談所に寄せられる相談は虐待、非行、不登校など多岐にわたり、人を相手にする、また決まつた答えのない仕事であるため、難しさを感じることもありますが、関わりを続ける中で子どもや家族の“笑顔”を引き出せたときには、とてもやりがいを感じています。

主な勤務課所

- 本庁関係課・福祉相談センター・児童相談所・福祉施設



福祉職は年々採用人数が増え、専門職として県民の福祉を支えていくことが期待されています。やる気溢れる皆さんと、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

心理



福祉相談センターや児童相談所等において、児童や女性、身体・知的・精神障害者等の心理学的判定等を行うほか、その相談・指導を行います。

本人自身の力や成長を信じ引き出す支援へ

私は知的障害者の心理判定・相談業務に携わった後、現在は、児童相談所の児童心理司として、子どもに知能検査や人格検査等を行う心理判定業務や、子ども本人や、保護者、関係機関職員等との相談業務に従事しています。いずれの業務においても、本人自身の力や成長を信じ、引き出す支援へと繋いでいくことが大切であると感じています。

相談内容は多岐にわたっていて、相談者が抱える背景や求めるニーズも様々なので、柔軟な姿勢や多面的な視点が必要です。そのため、心理司に限らず、児童福祉司や保健師等、他職種の方々と共に協力、連携しながら支援しています。

その中で、いろいろな気付きを与えられ、私自身も成長させてもらっている日々です。これからも相談者が希望と安心をもてる支援を心がけ、専門性と人間性を磨いていきたいと思っています。

主な勤務課所

- 本庁関係課・福祉相談センター・児童相談所・精神保健福祉センター・県立病院・福祉施設



知識・経験豊かな先輩方の支えのもと、一緒に考え、実行していく職場です。皆さんも私たちの一員となって、笑顔の満ちあふれる社会と一緒に築いていきましょう。

小中事務 (市町村立小中学校事務職員)



市町村立小中学校職員は、市町村立の小中学校に勤務します。身分は市町村職員となり、県職員との人事交流はありません。職員の給与や福利厚生、文書管理、校内予算等の財務に関するなどの業務を行います。

未来の茨城県を担う子どもたちと働く仕事

地元である大好きな茨城で、子どもたちと関わる仕事がしたいと考え、小中学校事務職員の仕事に就きました。

小中学校事務職員は、学校の総務・財務・学務など学校運営を支える業務にあたります。私は主に、教職員の給与・旅費・福利厚生等を担当しています。また、学校微収金の処理や校内予算の執行等も行います。

よりよい教育環境をつくるために苦慮することもあります。しかし未来の茨城県を担う子どもたちと一緒に働くとしてもやりがいのある仕事だと思います。

主な勤務課所

- 市町村立小中学校



小中学校事務職員は、子どもたちの笑顔に囲まれ、とても楽しく勤務できる職業です。茨城県の子どもたちの教育のために、一緒に頑張りましょう。

県の組織と主な仕事



議会

- 事務局

本会議、委員会の運営、議案に対する調査・研究等を行い、議会の円滑な運営を支えています。

- 知事直轄

県政に関する重要事項並びに企業誘致・土地販売についての総合的な政策調整や、県知事・副知事の秘書業務、県政の広報・広聴、イメージアップ、男女共同参画の推進、青少年対策、国際政策の推進や茨城国体の準備に取り組んでいます。

- 総務部

行政財政改革の推進、県税の徴収、予算編成、人事管理、出資団体等の指導監督など、県の各部局の業務の円滑な運営をバックアップしています。

- 地域支援局

市町村や県の出先機関等との連絡調整などを行ながら、市町村に対する権限移譲の推進や合併支援、行政運営への助言を行なうなど、地域の様々な課題に対応しています。

- 企画部

県の総合計画を策定し、各種事業をコーディネートしながら茨城の将来像をデザインしています。茨城空港の利活用の促進やJ-PARCはじめとする科学技術の振興、つくばエクスプレス沿線のまちづくり、県北等の地域振興等に取り組んでいます。

- 生活環境部

安全・安心で快適な生活環境づくりを総合的に推進しています。県民の生活文化の充実や地球温暖化対策、霞ヶ浦等の水質浄化、廃棄物の発生抑制及び循環的利用の推進などに取り組んでいます。

- 防災・危機管理局

県民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、自衛隊や警察、市町村などと連携して、地震、津波、風水害、原子力災害等の防災対策や危機管理の総合調整、危険物等の保安・規制などに取り組んでいます。

- 保健福祉部

県民が安心して健やかに暮らせるよう、医師確保をはじめとする医療体制の整備や少子化対策、高齢者・障害者の福祉施策を推進するとともに、健康づくりや食の安全確保などに取り組んでいます。

- 商工労働部

県内企業の海外展開や成長分野への進出のための支援、経営基盤の強化、商店街の活性化、観光資源の発掘・PRなどを通じ、商工業や観光の振興に取り組んでいるほか、若者や女性などの就業支援や職業訓練を通して雇用機会の創出を図っています。

- 農林水産部

元気で力強い農林水産業の実現に向け、高品質な農産物づくりや販売力の強化、6次産業化等による高付加価値化、農地集積の推進と農業を支える担い手の確保・育成のほか、森林の整備や県産材の利用促進、漁業経営の安定化や漁港・漁場の整備などに取り組んでいます。

- 農地局

魅力ある農業農村となるよう、水田や畑の基盤整備、農村の生活環境整備等を進めるとともに、農業水利施設の長寿命化対策に取り組んでいます。

- 土木部

幹線道路や重要港湾の計画的な整備、歩道や河川など身近な生活環境の整備・保全、建設技術の指導・管理、公共用地の取得、建設業の支援等、県土発展の基盤となる社会インフラの整備や維持管理に取り組んでいます。

- 都市局

将来のまちづくりに向けた都市計画の策定や都市計画に基づく公園・街路・下水道・区画整理などの様々な事業を進めるほか、公営住宅の建設や建築物の耐震化などにより安全・安心で快適なまちづくりに取り組んでいます。

会計管理者

- 会計事務局

現金の出納・保管、支出の審査、会計システムの管理、会計事務の企画・指導・検査、必要な物品の調達などの業務を通じ、適正な財務会計事務の遂行に取り組んでいます。

公営企業管理者

- 企業局

健康で快適な生活を支える水道用水の市町村への供給、企業の生産活動を支える工業用水の供給、地域経済の発展を支える工業団地の造成・分譲などに取り組んでいます。

病院事業管理者

- 病院局

県民に質の高い安全・安心な医療サービスを提供するために、総合医療を担う「中央病院」・精神医療を担う「こころの医療センター」・小児医療を担う「こども病院」を運営しています。

教育委員会

- 教育庁

茨城の未来を担う子どもたちを育むため、様々な教育施策を行い、確かな学力や豊かな心、健やかな体の育成に取り組んでいます。また、県民が生涯にわたって、学習やスポーツ、文化芸術に親しめる機会を提供しています。

公安委員会

- 警察本部

県民が安全で安心して暮らせる地域社会を確立するため、犯罪の予防・捜査、少年非行防止、交通の指導・取締り等を行っています。

行政委員会

- 選挙管理委員会
- 監査委員
- 人事委員会
- 労働委員会
- 収用委員会
- 海区漁業調整委員会
- 内水面漁場管理委員会

給与・待遇・福利厚生等

給与

新規採用職員（行政職）の給与は、原則として下記のとおりです。
※採用前に職歴のある場合は、この金額に一定額が加算されます。（平成27年4月1日現在）

区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	大学卒	184,704円
高校卒業程度	高校卒	150,072円

- 4%の地域手当を含んだ額です。
- この他、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当等が支給されます。
- 職種・勤務課所によっては、研究職・医療職・福祉職の給料表が適用され、上記の金額と異なる場合があります。
- 期末・勤勉手当（ボーナス）は年2回（6月、12月）支給されます。
- 勤務成績に応じて、原則として、年1回昇給が行われます。
- 人事委員会の勧告により給与の改定が行われます。

勤務時間と休暇制度

- 勤務時間は、原則として午前8時30分から午後5時15分までです。
- 完全週休2日制を導入していますので、原則として土曜日・日曜日は休みです。
- 年次有給休暇は、1年につき20日（ただし、4月採用の場合は採用年のみ15日）で、年休の未使用日数は20日を限度に翌年に繰り越すことができます（年間最大40日）。
- 5日間の夏季休暇があります。
- このほか、育児休業、特別休暇（結婚・忌引・介護等）等があります。

配置先と勤務先

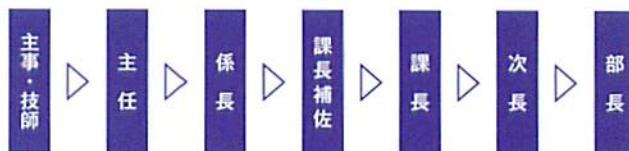
年1回、勤務についての希望調査を行い、これらを参考に配置換が行われます。配置換のサイクルは、3～5年が目安となり、本庁と出先機関、知事部局と教育委員会・行政委員会等との人事交流も行われています。

子育て支援のための主な制度

制度	給与の有無	男性	女性	内容・利用期間
産前産後休暇	有 給		●	産前8週（多胎妊娠の場合は14週）から産後8週まで
配偶者出産休暇	有 給	●		産前16週から産後2週までで、3日を超えない範囲
男性職員の育児参加休暇	有 給	●		生まれてくる子又は小学校就学前の子の養育 産前8週（多胎妊娠の場合は14週）から産後8週まで5日を超えない範囲
育児休業	無 給	●	●	子が3歳に達するまで ※子が原則1歳に達するまでは地方公務員共済組合から育児休業手当金が支給されます
部分休業	減 額	●	●	子が小学校就学の始期に達するまでで、勤務時間の始め又は終わりに1日2時間を超えない範囲
育児時間休暇	有 給	●	●	子が1歳6月に達するまでで、1日2時間を超えない範囲
育児短時間勤務	減 額	●	●	子が小学校就学の始期に達するまでで、勤務時間を短縮（週19時間25分～24時間35分）
時差出勤制度	有 給	●	●	子が小学校就学の始期に達するまでで、1日の勤務時間を変えず、始業・終業時刻を変更（8:00～16:45、9:00～17:45、9:30～18:15）
子の看護休暇	有 給	●	●	子が中学校就学の始期に達するまでで、1年に5日（子が2人以上の場合は10日）を超えない範囲

昇任

最初は、主事又は技師として採用され、その後は、勤務成績に基づき、選考により上位の職に昇任します。



福利厚生

共済制度

職員やその家族が病気などの時に療養費等を給付するほか、退職後の生活を保障する年金の給付、住宅・結婚資金の貸付等を行っています。

健康管理

全職員を対象とした定期健康診断のほか、人間ドック、脳ドック、婦人科予防検診等を行っています。

体育・レクリエーション

職員の健康増進を図るため、県庁内に福利厚生棟（アリーナ・トレーニング室など）を設置しているほか、野球、バレーボール等の球技大会等を行っています。また、フィットネスクラブ等のスポーツ施設を割引料金で利用できます。

宿泊・保養施設

県内をはじめ全国各地にある共済組合の宿泊・保養施設を割引料金で利用できるほか、海の家・山の家として指定したホテル・ペンションの利用料の一部助成が受けられます。

サークル

体育サークルとして、野球、サッカー、スキー、テニス、バドミントン、山岳等、文化サークルとして将棋、生花、神輿等のサークルが活動しています。

研修制度



一般研修

新規採用職員から中堅・管理職の職員まで、それぞれの階層ごとに実行する、職務遂行上必要とされる知識・技能を修得するための研修です。政策形成・事務処理、コミュニケーション等、様々な能力の向上を図る内容となっています。

新規採用職員研修

平成 26 年度は、合計 1 泊 14 日の日程で、公務員としての心構えや職務上必要な基礎知識及び職務を遂行する上で必要となる基礎的法令知識の修得のため、「県の組織と仕事」「地方公務員制度と職員の服務」「文書実務」「法の見方・考え方」等の研修を行いました。また、県内民間企業における接客などの業務を体験し、民間の顧客志向や経営感覚等を学ぶ、「民間企業体験研修」を行いました。



新規採用職員研修の様子

特別研修

複雑・多様化する県民のニーズや社会環境の変化に的確に対応していく能力を身に付けるための研修です。行政課題の解決方法をグループで研究する「政策研究講座」をはじめ、「効果的な会議・住民説明会の進め方講座」「情報発信力向上講座」「クレーム対応能力向上講座」等多数の講座が用意されています。

派遣研修

外部から茨城県を見直すことにより、意識改革と資質の向上を図ったり、高度な専門知識を得るために研修です。国や民間企業、大学院などへの派遣研修を行っています。

また、国際感覚と広い視野をもった職員を養成するための海外研修も行っています。職員自身が研究テーマを設定し 10 日間程度海外に滞在して調査研究する短期研修があります。

平成 26 年度の主な派遣先

【国・企業等】

内閣官房、内閣府、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、原子力規制庁、福島県、アサツーディ・ケイ、イオンリテール、移住・交流推進機構、鹿島アントラーズ・エフ・シー、カスミ、産業技術総合研究所、資生堂、新エネルギー・産業技術総合開発機構、JTB、自治体国際化協会、常陽銀行シンガポール駐在員事務所、常陽地域研究センター、東日本旅客鉄道

【大学等】

自治大学校、政策研究大学院大学、国立保健医療科学院、明治大学大学院

【海外】

職員の自主企画による短期研修



派遣先レポート　自治体国際化協会ソウル事務所



～貴重な経験を茨城県のさらなる国際化に～

私は現在、(一財)自治体国際化協会（通称クレア）で勤務しています。クレアは、世界に 7 つの海外事務所を持ち、自治体の国際関係業務のサポートや海外諸地域の先進事例等の調査研究を行う機関です。

1 年間の東京本部での勤務を終え、現在は韓国にあるソウル事務所に配属されています。同じくソウルに拠点を持つ自治体単独事務所や JETRO、JNTO、日本大使館、商工会議所等あらゆる機関と連携しながら、観光展や物産展における自治体 PR や日本からの出張者のサポート等に尽力しています。

海外勤務で得られる貴重な経験を茨城県の更なる国際化に役立てられるよう、日々努力しています。また、他の自治体の海外戦略の動向を間近で見ることができるもの大きな刺激になっています。

飯村 主事 (平成 20 年度採用)



釜山国際観光展にて日本旅行に関するアンケート調査を行う



採用試験案内



応募から採用までの流れ

■人事委員会

県人事委員会ホームページにアクセスし、試験案内の確認または、試験案内・申込書の入手

1

試験申込み

インターネットで申し込むか、人事委員会事務局へ申込書を郵送（簡易書留）又は持参してください。

試験の申込みは便利なインターネットで！

- いばらき電子申請・届出サービスにより申込みができます。

- 申込みに当たっての注意事項はインターネットでの申込受付期間中に茨城県人事委員会のホームページで確認してください。

2

第1次試験

筆記試験を行います。

5

最終合格発表

合格者の受験番号を人事委員会事務局等に掲示するほか、ホームページにも掲載します。第2次試験受験者全員に、文書で合否を通知します。

7

意向調査

任命権者は、採用候補者に対し、茨城県への就職の意思を確認します。

3

第1次試験合格発表

合格者の受験番号を人事委員会事務局等に掲示するほか、ホームページにも掲載します。合格者には第2次試験の日時、会場を文書で通知します。

6

採用候補者名簿登載・提示

最終合格者を、採用候補者名簿に登載し、任命権者からの請求に応じて成績順に提示します。

8

採用内定

任命権者は、採用を内定した人にその旨を通知します。

4

第2次試験

第1次試験の合格者に対して口述試験等を行います。

9

採用

採用は、原則として翌年4月1日になります。

■任命権者

(知事、教育委員会、警察本部長等)

試験案内・申込書の入手方法

■直接入手する

試験案内・申込書は、各試験ごとの配布開始以降に、下記の場所で配布します。配付時間は、祝日・休日を除く月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時の間です。

※試験案内・申込書の配布開始日は、茨城県人事委員会のホームページでご確認ください。

■郵便で請求する

希望する試験区分に応じ、封筒の表に「大学卒業程度請求」等と朱書きし、あて先を明記して140円切手を貼った返信用封筒（角形2号／縦33cm×横24cm程度）を同封して、〒310-8555 水戸市笠原町978-6 茨城県人事委員会事務局あて、請求してください。

※受付締切間際の郵便での請求はご遠慮ください。

配 布 場 所	人事委員会事務局	行政情報センター	県北県民センター	鹿行県民センター	県南県民センター
	水戸市笠原町978-6 茨城県庁23階 TEL 029-301-5549	水戸市笠原町978-6 茨城県庁3階 TEL 029-301-2152	常陸太田市山下町4119 常陸太田市合同庁舎内 TEL 0294-80-3322	鉾田市鉾田1367-3 鉾田市合同庁舎内 TEL 0291-33-4110	土浦市真鍋5-17-26 土浦市合同庁舎内 TEL 029-822-7010
県西県税事務所境支所 猿島郡境町長井戸320 境合同庁舎内 TEL 0280-87-1120	県西県民センター 筑西市二木成615 筑西市合同庁舎内 TEL 0296-24-9061	水戸県税事務所 水戸市相馬町1-3-1 水戸市合同庁舎内 TEL 029-221-4803	常陸太田県税事務所 高萩支所 高萩市春日町3-1 高萩市合同庁舎内 TEL 0293-22-2019	行方県税事務所 行方市麻生1700-6 行方市合同庁舎内 TEL 0299-72-0771	土浦県税事務所稲敷支所 稲敷市江戸崎甲541 稲敷市合同庁舎内 TEL 029-892-6111
常陸大宮保健所 常陸大宮市猪俣2978-1 TEL 0295-52-1157	日立保健所 日立市勘助町2-6-15 TEL 0294-22-4188	つくば保健所 つくば市松代4-27 TEL 029-851-9287	茨城県東京事務所 千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 (地下鉄「永田町駅」下車) TEL 03-5212-9088	茨城県大阪事務所 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第一ビル8階 TEL 06-6341-2649	茨城県北海道事務所 札幌市中央区北一条西2-2 北海道経済センター5階 TEL 011-232-3537

試験の方法

大学卒業程度は大学、高校卒業程度は高校で履修した程度の問題を出題します。

※今年度の採用試験日程及び受験資格等については、茨城県人事委員会のホームページ

試験区分	第1次試験	第2次試験
県職員大学卒業程度試験	教養試験(択一式：下記参照：2時間) 専門試験(択一式：事務職 下記参照、技術系職種40問：2時間)	論文試験(1問：1時間20分)※ 口述試験(集団討論及び個別面接2回)適性検査
県職員高校卒業程度試験 市町村立小中学校職員高校卒業程度試験	教養試験(択一式：50問：2時間) 専門試験(択一式：技術系職種のみ実施 40問：2時間)	作文試験(1問：1時間)※ 口述試験(個別面接) 適性検査

※論文試験・作文試験は第1次試験日に実施します

選択解答制について

県職員大学卒業程度試験 教養試験…50問出題 40問解答

県職員大学卒業程度試験 専門試験(事務職)…50問出題 40問解答

茨城県に関する問題の出題 県職員大学卒業程度試験では、「茨城県に関する問題」を出題します。

試験実施状況

試験区分	職種	平成26年度					平成25年度						
		採用予定人	応募	受験	1次合格	最終合格	競争率	採用予定人	応募	受験	1次合格	最終合格	競争率
		人	人	人	人	人	倍		人	人	人	人	倍
大学卒業程度	事務(知事部局等)	60名程度	949	754	149	76	9.9	55名程度	1026	806	159	72	11.2
	事務(警察本部)	5名程度	68	50	17	8	6.3	7名程度	101	76	20	9	8.4
	電気	3名程度	34	30	18	7	4.3	3名程度	42	36	12	4	9.0
	機械	3名程度	27	19	14	6	3.2	4名程度	27	20	15	5	4.0
	土木	19名程度	75	64	47	25	2.6	16名程度	64	54	36	17	3.2
	建築	3名程度	11	10	9	5	2.0	4名程度	25	21	13	5	4.2
	化学	5名程度	72	52	15	7	7.4	8名程度	80	58	23	9	6.4
	薬剤師	7名程度	10	8	7	4	2.0	5名程度	23	18	14	6	3.0
	管理栄養士	—	—	—	—	—	—	1名程度	52	45	7	2	22.5
	農業	9名程度	64	54	25	11	4.9	8名程度	84	66	22	9	7.3
	農業土木	5名程度	14	12	11	6	2.0	5名程度	19	15	14	5	3.0
	畜産	1名程度	5	5	5	2	2.5	2名程度	13	5	4	2	2.5
	林業	3名程度	15	15	10	5	3.0	3名程度	8	8	7	4	2.0
	水産	2名程度	14	13	9	3	4.3	2名程度	19	14	7	2	7.0
	獣医師	3名程度	11	11	9	6	1.8	9名程度	12	11	10	8	1.4
	福祉	7名程度	48	46	21	10	4.6	8名程度	41	35	21	9	3.9
	心理	2名程度	16	15	8	2	7.5	2名程度	27	20	7	2	10.0
	計	137名程度	1,433	1,158	374	183	6.3	142名程度	1,663	1,308	391	170	7.7
高校卒業程度	事務(知事部局等)	23名程度	223	207	69	28	7.4	24名程度	203	183	64	33	5.5
	事務(警察本部)	8名程度	41	38	19	11	3.5	6名程度	54	54	16	7	7.7
	電気	2名程度	7	7	4	2	3.5	—	—	—	—	—	—
	機械	1名程度	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	土木	1名程度	6	6	3	1	6.0	1名程度	1	1	1	1	1.0
	農業	1名程度	6	6	3	1	6.0	1名程度	7	7	3	1	7.0
中小学校	計	36名程度	285	266	98	43	6.2	32名程度	265	245	84	42	5.8
	事務[高校卒業程度]	14名程度	112	108	43	21	5.1	15名程度	97	87	39	17	5.1
	計	14名程度	112	108	43	21	5.1	15名程度	97	87	39	17	5.1

採用試験説明会

採用試験受験希望者を対象とした説明会を開催します。試験概要や各職種の業務内容等の説明及び個別相談などを行います。

日程、参加申込方法等詳しいことは、茨城県人事委員会ホームページでご覧いただか、電話でお問い合わせください。

その他職員の採用

・特殊な知識、技能、資格を必要とする職種については、欠員がある場合に限り、選考により採用しています。これらの職種の受験を希望する人は、人事委員会事務局にお問い合わせください。

・茨城県公立学校教員等採用選考については、県教育庁にお問い合わせください。

・茨城県立中央病院及びこころの医療センターにおける看護師等の採用選考については、県病院局経営管理課にお問い合わせください。

・警察官採用試験については、県警察本部警務課にお問い合わせください。

小・中学校教諭等	県教育厅義務教育課	TEL.029-301-5220
高等学校教諭等	県教育厅高校教育課	TEL.029-301-5256
特別支援学校教諭等	県教育厅特別支援教育課	TEL.029-301-5275
看護師等	県病院局経営管理課	TEL.029-301-6516
警察官	県警察本部警務課	TEL.029-301-0110

採用選考実施状況

年 度	実施職種	採 用
平成26年	看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師、職業訓練指導員、福祉、薬剤師、事務（身体障害者を対象とした職員）	知事部局等
	犯罪鑑識員（化学）、サイバー犯罪捜査官、事務（身体障害者を対象とした職員）、武道指導	警察本部
	看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床工学技士、診療情報管理士、医療事務（IT推進担当、臨床研修担当）	病院局
	船員、学芸員、司書、事務（身体障害者を対象とした職員）	教育委員会
平成25年	看護師、保健師、臨床検査技師、福祉、看護師、事務（身体障害者を対象とした職員）、職業訓練指導員	知事部局等
	通訳（韓国語）、サイバー犯罪捜査官、犯罪鑑識員（法医）、事務（身体障害者を対象とした職員）、武道指導	警察本部
	看護師、医療ソーシャルワーカー、医療事務（医事統括、医事担当、IT推進担当）	病院局
	小中学校事務（身体障害者を対象とした職員）	教育委員会



あなたの「？」に答えます。

茨城県人事委員会のホームページにこのほかのQ&Aも掲載しています。

Q 採用予定職種や採用予定人員はいつ公表されますか。

A 年間の採用試験の日程は例年2月頃公表していますが、各試験の採用予定職種や採用予定人員は4月下旬～5月上旬に公表します。

Q 大学卒業程度の採用試験は、大学の卒業（見込）者以外は受験できないのですか。

大学卒業程度の試験は、試験問題の程度が、大学卒業程度の学力を必要とする試験という意味で、受験資格を満たしていれば、学歴に関係なく受験することができます。また、短大卒業程度は短大卒業程度、高校卒業程度は高校卒業程度の学力を必要とする試験になります。

Q 理科系の学部出身ですが、事務職を受験できますか。

A 受験資格を満たしていれば受験できます。

Q 県外出身者や既卒者は不利でしょうか。

A 受験資格は一部の職種を除き、年齢のみが要件となっています。また、合格者は、採用試験の成績順に決定され、出身地、出身校、性別などは試験の成績に全く関係ありません。

Q 試験問題は公表されていますか。

A 教養試験及び専門試験で出題するとの同程度の問題の一部を「例題」としてホームページで公表しています。また、教養・専門試験の出題分野、論文試験・集団討論の前年度の課題例については、各試験案内で確認してください。

Q 試験に合格すれば、必ず採用されますか。

A 採用手続きは、各任命権者（知事、教育委員会、警察本部長等）が行います。最終合格者の人数は、退職者見込みや採用辞退見込みなどをもとに決定されますので、その状況によっては採用されないこともあります。ただし、最近では、合格者が辞退しない限り、最終合格者全員が採用されています。



茨城県人事委員会事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

TEL.029-301-5549 FAX.029-301-5559

茨城県人事委員会ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/jinjiin/index.html> mobile版 <http://mobile.pref.ibaraki.jp/>

茨城県人事委員会事務局 Eメールアドレス saiyoushiken@pref.ibaraki.lg.jp

